

CLAIR トピックス — 最近のクレアの動きや所管国の状況等を短くまとめて紹介します



シドニー事務所

国際交流基金シドニー日本文化センターの 日本語講座で 「北東北」の魅力をプレゼンテーション

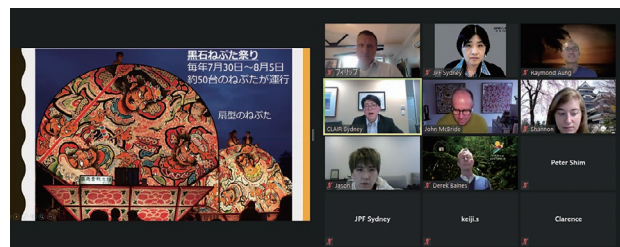
11月30日、国際交流基金シドニー日本文化センターからの依頼を受け、同センターが開催している日本語講座で、クレアシドニー事務所職員がオンラインでプレゼンテーションを行いました。

同講座の上級レベルコースは、2020年は「日本の地域」をテーマに開講されており、最近では特に「北東北」を取り上げてきました。そこで、北東北の青森県黒石市から派遣されているクレアシドニー事務所職員から、受講者に対して、青森県内で行われるお祭りの情報や、津軽弁や南部弁の方言を紹介しました。また、日本の歴史の学習に熱心な受講者たちは、「北前船」と呼ばれる江戸時代から明治時代にかけて日本海を航海した商船や、明治時代に日本を訪れたイギリス人が記した紀行文についても学んでいたため、それらと青森県の関係についても触れました。受講者から、「青森に行ってみたくなった」、「ローカル愛が伝わってきた」という嬉しい声が聞かれました。

クレアシドニー事務所は、引き続き、日本の地方文化の発信を通じた各地域のPRを支援していきます。



受講者から驚きの声が上がった青森県内の桜の名所



黒石ねぶた祭りの紹介



パリ事務所

第8回「伝統と先端と～日本の地方の底力～」展を開催

クレアパリ事務所では、昨年末から3月にかけて、日本の地方に根付いた伝統産業技術や工芸品にスポットを当て、全国9自治体から、地方が持つ知られざる魅力を発信する第8回「伝統と先端と～日本の地方の底力～」展を、「食」をテーマに開催しています。3月2日から13日まで恒例のパリ日本文化会館で開催するほか、今年度は、12月15日から2月末まで同館内のショップで展示品の先行販売を実施、加えて2月1日から同月末まではウェブ展を開催するなど、コロナ禍も踏まえ、初の試みを行っています。

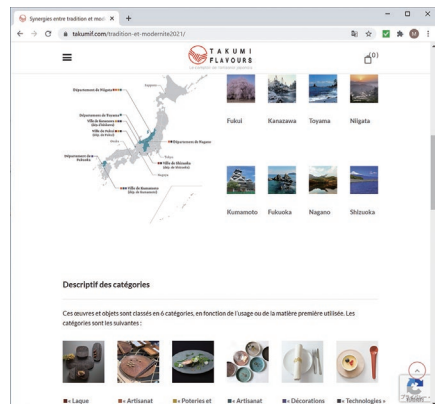
ノエル（クリスマス）商戦にも合わせた先行販売では、「色や形が美しく、プレゼントに最適だ。」「価格が少し高いが、質が良いので納得して購入できる。」など、デザインや品質を評価する声が多く寄せられ、比較的高い価格帯の販売にもつながりました。

また、ウェブ展では、伝統産業を生み出した出展自治体の風土や伝統工芸品の素材に着目した展示によりきめ細かい情報発信

を行い、併せて行われる販売との相乗効果を狙っています。初日から早速販売実績が上がり、来館者に限らず広く日本の地方の魅力を知っていただくことができるなど、欧州での販路開拓を目指す地方自治体にとって、従来の枠組みを超えたより効果的な情報発信、テストマーケティングの機会となっています。来年度はパリ、ウェブに加え、地方での出展を計画しています。



ノエル前の先行販売で展示品を手にする来店者



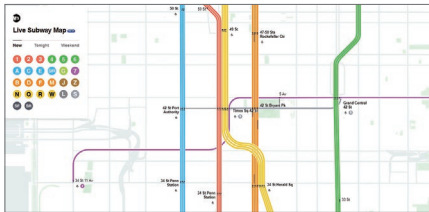
初の試みとなるウェブ展サイト



ニューヨーク事務所

ニューヨーク市における公共交通機関の利便性向上に向けた取り組み

(地下鉄) 昨年10月、ニューヨーク市で地下鉄を運営するニューヨーク都市圏交通公社 (MTA) がライブマップを発表しました。新たなマップでは、オンライン上で電車の位置をリアルタイムに確認することができます。これまでホームで長時間待たされていた地下鉄利用者にとっては画期的なマップといえそうです。新型コロナウイルスの感染拡大を受け、地下鉄利用者は以前のおよそ30%まで減少してしまいました。このマップが、コロナ禍において地下鉄利用者数回復のきっかけになることが期待されています。



今回発表された地下鉄ライブマップ

(バス) ニューヨーク市では、バスの遅延等により2014年から2018年にかけ利用者が13%減となったことを受け、2020年末までに運行速度を25%向上させる目標を掲げていました。その取り組みの1つが「交通信号優先システム」の増設です。これは信号を制御し、バスが交差点に近づくと青信号を延長、または赤信号を短縮するものでバスの移動時間は最大25%短縮できると見込まれています。2019年時点では約600か所に導入されていましたが、2020年10月時点で1,350か所以上となりました。今後も年300か所以上追加導入することを目指し、さらなるバスの運行速度向上を目指しています。



交差点を通過するバス



ソウル事務所

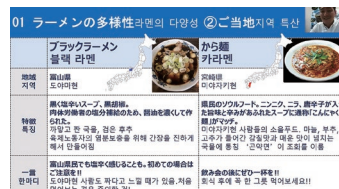
大学生を対象とした出前講座を開催

クレアソウル事務所では、大学の日本語学科等で学ぶ学生を対象に、日本の地方の特色や文化、観光情報等を紹介する出前講座を開催しています。

11月から12月にかけては、ソウルにある西京大学校とカトリック大学校の協力を得て、6人の職員がオンラインで出講し、日本の特色や文化に関する講義を行うとともに、各派遣元自治体のPRを行いました。

「地域ごとの気候の特色と特産品」、「ラーメンにみる地域の多様性」、「日本語の成立と、流行り言葉に見る日韓の文化交流」など、多様なテーマを取り揃えたことにより、それぞれのテーマに合致した授業への出講依頼をいただき、日本への関心が高い学生と広く交流を持つことができました。

新型コロナウイルス感染拡大や日韓関係の影響を受けて、地方や個人の間で長年育まれてきた日韓間の交流も、今はその動きを鈍化せざるを得ない状況となっています。そのような中でも、将来の日韓交流の担い手となる大学生に、日本の地方の魅力を伝えることで、相互理解の促進と交流推進を図るべく努めてまいります。



クレアソウル職員によるプレゼンテーション



大学生との意見交換の様子



北京事務所

「吉林省産業視察ツアー」に参加しました

12月15日から17日にかけて、吉林省延辺朝鮮族自治州琿春市で「吉林省産業視察ツアー」(主催: 吉林省外事弁公室)が開催され、クレア北京事務所は宮城県大連事務所を代表とする在中国地方自治体事務所や関係企業とともに参加しました。

琿春市は、東をロシア、南を北朝鮮と接し、日本海まで15kmの内陸部に位置しています。中国初の国境開放都市(国境に位置する貿易促進のための優遇政策のある都市。国が指定。)の1つとして、4つの税関を持つ貿易都市であり、ロシアの港を借りることで海運にも力を入れています。

総勢11人の視察団は、総合保税区や物流施設を視察し、貿易の概況や減税施策などについて知見を得ました。また、琿春市幹部との意見交換会では、今後の交流可能性について活発に議論が交わされました。

琿春市は日本との交流を推進するため、友好都市である鳥取県境港市にこれまで多くの国際交流員を派遣してきました。今回の視察においても国際交流員の経験者がアテンド役を担うなど、現場の第一線で活躍していました。

クレア北京事務所では、今後も日中双方の取組事例や情報を発信し、日中間の地方自治体・地方政府における交流活動の支援に一層注力してまいります。



意見交換会で挨拶をする宮本北京事務所長



総合保税区で説明をうける視察団



ロンドン事務所

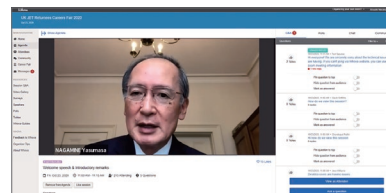
JET プログラム終了者向けキャリアフェアをオンラインで開催

10月23日、クレアロンドン事務所・在英日本国大使館・JETAA UK（英国 JET プログラム同窓会）の共催で、JET プログラム終了者向けのキャリアフェアをオンラインで開催しました。このイベントは、英国出身の JET プログラム終了者を対象に、キャリア形成支援を目的として毎年開催していますが、今回は新型コロナウイルスの流行の影響で、初のオンライン開催となりました。

イベントでは、JET プログラムの経験を活かせる仕事に関するウェビナーのほか、企業ブースやカウンセラーによる 1 対 1 の履歴書相談会を行うなど、会場開催と遜色のない充実したコンテンツを提供しました。また、参加者投票型のフォトコンテストを開催し、受賞者はイベント終了時に発表するほか、賞品の贈呈なども盛り込むことで、参加者が楽しみながらも主体的に参加できるフェア作りを目指しました。当日は、オンライン開催ということで居住地の制約を受けることなく参加できるということもあり、英国内外から過去最多となる 100 人以上の JET 終了者が参加するなど賑いました。これからもクレアロンドン事務所ではポストコロナを見据え、その時々状況に合った形で JET プログラムや元参加者の支援を進めていきます。



オンラインイベントの様子



長嶺大使による開会の挨拶



シンガポール事務所

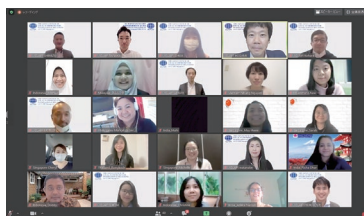
シンガポール事務所所管国の JETAA がオンラインで意見交換

11月8日、当事務所所管国の JETAA 支部間の意見交換等を目的として、「JETAA Networking Session for Southeast Asia and India」をオンラインで実施しました。初開催の今回、インド、インドネシア、フィリピン、シンガポールの支部に加え、支部が未開設のマレーシア、ミャンマー、タイ、ベトナムの JET プログラム参加者・経験者も含め、総勢 40 人が一堂に会しました。

会議では、これまでの活動と今後の計画について各支部が発表し、オフラインのイベントや会議が実施できない現状で、それぞれが工夫して実施しているオンラインでの取り組みなどが紹介され、活発に議論が交わされました。

その中でも、インドネシア支部から今回のような会議を定期的で開催することで、支部間の関係がさらに強化されることが望ましいとの意見があったほか、JETAA の活動に関心を持ったマレーシアの参加者からは、JETAA の設立の方法について質問をいただくなど、所管国全体における JET の活動にとって大変有意義な会議になりました。

当事務所としては、日本と各国の懸け橋である JETAA の活動を今後も支援してまいりたいと思います。



会議出席者の記念撮影



オンラインで開催されたインドネシア・日本祭りについて紹介する JETAA インドネシア支部会長



経済交流課

オンラインによるプロモーションアドバイザー派遣を実施しました！

12月16日、オンラインによるプロモーションアドバイザー派遣（専門家が自治体へ助言を行う事業）を実施しました。今回は、インバウンドの推進を目的とした多言語ホームページの情報発信方法などについて助言をいただくため、水戸市へ和テンション株式会社を派遣しました。

プロモーションアドバイザー派遣の概要については、随時ホームページへ掲載しております。過去の派遣事例の概要については、こちらをご覧ください。

<http://economy.clair.or.jp/activity/dispatch/d-results/>

◆プロモーションアドバイザー事業について◆

自治体の海外プロモーションを支援するため、専門的知見、ノウハウ、経験をもつ専門家（プロモーションアドバイザー）を派遣し、相談対応や専門的な助言・情報提供等を行う制度です。オンラインでの派遣も可能ですので、お気軽にお問い合わせください。

現在、31 人（社）がプロモーションアドバイザーとして登録されております。本事業について、詳しくはホームページをご覧ください。

<http://economy.clair.or.jp/activity/dispatch/>

【お問い合わせ】

経済交流課 Tel : 03-5213-1726 Mail : keishin@clair.or.jp



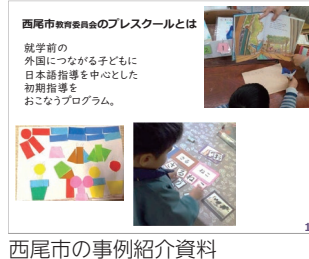
オンライン派遣の様子 和テンション株式会社 鈴木代表取締役（上段左）、同社 中澤様（上段中）、水戸市（上段右）、水戸観光コンベンション協会（下段左・中）、クレア担当者（他）

多文化共生課

多文化共生の担い手連携促進研修会の実施報告

12月17日に、「外国人の子育て支援」をテーマに、多文化共生の担い手（自治体、地域国際化協会・市区町村協会、NPO等）を対象とした「多文化共生の担い手連携促進研修会」をオンラインにて2部制で開催しました。第1部はウェビナー形式で幅広く課題やニーズを共有することを目的に、「外国にルーツのある子どもの乳幼児期に必要な支援とは」と題した講演と、「西尾市の多文化共生教育体制について～多文化ルーム KIBOU の取組～」について事例紹介を行いました。第2部は、地域課題をより深めていただくことを目的に、今後のアクションにつなげるための導入講義と、多文化小規模保育の実践についての事例紹介の後、ブレイクアウトルーム機能を活用したグループワークを行いました。

「子育て」をテーマとした担い手向けの研修会は初めての試みではありましたが、多数の申し込みをいただき、グループワークでも活発な意見交換が行われ、地域課題としての認識の高さがうかがえました。今後も、多文化共生の担い手の方々のネットワーク構築・強化やスキルアップを目指した研修会を実施してまいりますので、積極的にご参加ください。



西尾市の事例紹介資料

多文化共生の担い手連携促進研修会
『外国人の子育て支援』
令和2年12月17日(木) 第1部: 10:00~12:00
第2部: 13:30~17:00

＜第1部＞
10:00～ 主催者あいさつ、ファシリテーター紹介、研修の目的（1日の流れなど）
10:15～ 講演「外国にルーツのある子どもの乳幼児期に必要な支援とは」
10:30～ 西子 浩二 氏（奈良県奈良市国際化推進協議会 顧問）
11:25～ 【事例紹介】「西尾市の多文化共生教育体制について～多文化ルーム KIBOU の取組～」
11:40～ 西子 浩二 氏（西尾市教育委員会事務局 学務教育課 主幹）
11:50～ 加藤 雅夫 氏（多文化ルーム KIBOU「社会福祉法人キボウ」代表理事）
多文化共生教育コーディネーター

＜第2部＞
12:00～ 第1部終了
12:10～ 【導入講義】「多文化共生の現状と今後の展望について」
12:30～ タマナシ新設施設者紹介
13:30～ グループワーク、発表（第1部の課題、事例紹介について）
14:00～ 【導入講義】「児童福祉の子育て支援に向けて、今後のアクションにつなげるために」
14:15～ 土井 有香 氏（加藤建設建設アドバンサー）
14:30～ 【事例紹介】「多文化小規模保育の取組について」
14:45～ 加藤 雅夫 氏（一社社団法人多文化リソースセンター代表理事）
15:00～ グループワーク、発表（事例紹介について）
15:45～ 総括
16:50～ 事務局挨拶
17:00～ 閉会

【主催】地域国際化協会、市区町村協会、地方自治体連合、NPO等（関係自治体の協賛）
【協賛】多文化共生推進センター等
【定員】第1部: 50名（先着順）
第2部: 50名（先着順）
【参加費】無料、ランチ費1,000円（2部制の方は別）
【申し込み】オンライン会議システム（Zoom）
申込締切: 12月15日（金）18時
申込方法: 申込用紙をダウンロードし、お申し込みください。

以下フォームよりお申し込みください
https://bit.ly/370200v
申込用紙ダウンロード
QRコード
お問い合わせ: 056-231-1111
056-231-1111

研修会チラシ

JET プログラム事業部

キャリアビジョン形成セミナーを WEB で公開中！

JET プログラム事業部では、JET プログラム参加者の JET プログラム終了後の日本での就職を支援するため、例年、キャリアビジョン形成セミナーを開催しています。

今年度からより多くの方々に参加していただくために、WEB 形式でセミナーを開催することとして、セミナーの内容を動画にまとめ、12月28日よりクレアのホームページ（下記参照）で公開しています。

セミナーの内容としては、①外国人材の労働市場の現状と今後の展望、②就職活動の基本、③ JET プログラムの経験の活かし方、④今後の具体的な就職活動の方法の4つのパートに分かれており、日本の就職活動の基本的な情報はもちろん、JET プログラム参加者としての強みを活かすための履歴書や志望動機の記載方法や、第一線で活躍する JET プログラム経験者へのインタビューを盛り込んだ内容となっています。また、昨今のコロナ禍における各業界の動向や、今後も増加が見込まれるオンライン形式での面接への対応など、ウィズコロナ時代に対応するための情報も追加しました。

JET プログラム事業部では、今後も JET プログラム参加者に有用な情報を提供するため、さまざまなセミナーを開催していきます。

【セミナー URL】

<http://jetprogramme.org/ja/careersupport/careervision-webseminar/>



コロナ禍の各業界の状況を説明する動画中のパネル

交流親善課

国際交流事業（姉妹都市交流事業等）に関する調査を実施しました！

クレアでは、自治体などが国際交流事業を実施する上で参考としていただくため、毎年度、国際交流に関する取り組みを調査し、ホームページ上で紹介しています。

2020年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響について調査したところ、中止または翌年度に延期もしくは実施形態の変更など、何らかの影響を受けた事業は都道府県で約70%、市町村では約80%に上りました。

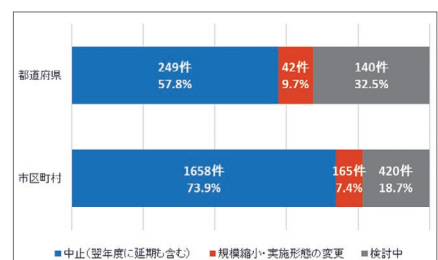
しかし、中には、双方の Web サイトにおいて写真展を開催したり、メッセージ動画を送り合うなど、方法を工夫して行われた事業も多数ありました。また、次年度以降の交流に向けて、オンラインを活用して互いの自治体を紹介するなど、交流を継続していこうという取り組みもみられました。

調査結果の概要はクレアホームページに掲載していますので、参考にいただき、With コロナにおいても、新たな国際交流の推進につなげていただきたいと思います。

■姉妹（友好）都市提携に基づく交流事業：

<http://www.clair.or.jp/j/exchange/jirei/page-1.html>

■その他の交流事業：<http://www.clair.or.jp/j/exchange/jirei/page-2.html>



自治体の国際交流事業に対する新型コロナウイルス感染拡大の影響（2020年8月1日時点）